科目名	文化と社会の探求				
曜日・講時	水曜3限、木曜1限	教室	川北キャンパスC205		
科目群	全学教育科目先進科目-国際教育				
単位数	2.0单位				
対象学部	全				
担当教員(所属)	小嶋 緑 所属:高度教養教育・学生支援機構				
開講期	1年次以上第1クォーター				
科目ナンバリング	ZAC-GLB805E				
使用言語	英語				
メディア授業科目					
主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。				
授業題目	【国際共修】Understanding Japan through Miyagi's Traditional Culture (Sparrow Dance) (English) 宮城の伝統文化すず め踊りを通して、日本を知る(英語)				
授業の目的と概要	Objective and Summary of Class This course aims to explore Japanese culture by introducing the origins of modern Japanese society and enhancing students' understanding of the mentality of the Japanese people. This course operates under the assumption that understanding local culture is an important first step in becoming a global citizen, and thus focuses on the traditional culture of Miyagi prefecture. Students will learn about and discuss several concepts related to Japanese culture and then analyze Suzume Odori (Sparrow Dance) using the cultural concepts discussed. Students will also learn how to dance the Suzume Odori through classes and videos. 授業の目的と概要 この授業では、日本の伝統文化の理解を通じて、現代の日本社会や日本人の考え方についての理解を深めることを目的とする。この授業では、グローバルな社会を理解する上で欠かせない「ローカル」の理解を深めるという視点から、宮城県という地域の伝統文化に焦点を当てる。この授業では、学生は日本文化に関する様々な概念についてのディスカッションを行い、それらのコンセプトを用いてすずめ踊りについて分析し、理解を深める。学生は、授業を通じて、すずめ踊りの踊り方についても学ぶ。				
学習の到達目標	Goal of Study By the end of the course, students will be abl 1) Describe what the Suzume Odori and the S 2) Discuss modern Japanese society through 3) Analyze the Suzume Odori using these con 学習目標 1)「すずめ踊り」や「仙台青葉まつり」とは 2) 日本の現代社会について、日本の文化に関 3) それらの概念を用いて、すずめ踊りについ	Sendai Aoba Festival are Japanese cultural concepts cepts 何か説明することができる する概念を用いて議論ができる	3		
授業内容・方法と進度予定	Class Schedule and Contents				
	This course consists of four parts: (1) experied discussion of cultural concepts, and (3) analy 授業内容・スケジュール 本授業は3つのパートによって構成されていまってカッションをする、(3) 日本文化の概念を見いる。 (3) 日本文化の概念を見いる。 (3) 日本文化の概念を見いる。 (4) 日本文化の概念を見いる。 (5) 日本文化の概念を見いる。 (6) 日本文化の概念を見いる。 (7) 日本文化の概念を見いる。 (8) 日本文化の概念を見いる。 (9) 日本文化の概念を見いる。 (1) 日本文化の概念を見いる。 (1) 日本文化の概念を見いる。 (9) 日本文化の概念を見いる。 (9) 日本文化の概念を見いる。 (9) 日本文化のでは、(9) 日本文化のでは	rsis using these concepts す。(1)日本の伝統文化を経りました。 聞いて分析を行う。 luction of Suzume Odori @Cla @TBA uest Speaker: Festivals in Toho @TBA / Japanese group consciousne ③@TBA Arena1 10:30 am - 12:00 pm panese patience and determin. TBA DO spirit of Japan, Introduction @TBA Festival @Jozenji Street & Reflection @Classroom	食・体験する、(2)日本文化の概念を学びディ ssroom oku @Classroom ess @Classroom		

	X Lectures and discussions are delivered mostly in English, supplemented by Japanese.
	重要 ※ 初回の授業は4月9日(水)です。 ※ 授業やディスカッションは主として英語で行いますが、必要に応じて日本語で補助します。
成績評価方法	Evaluation Method Students will be assessed and graded based on active participation (50%), homework (20%), and the final individual presentation (30%). The details of the assessment will be provided in class.
水原 a 下 Щ / J 広	評価方法 授業への積極的な参加(50%)、宿題(20%)、最終個人発表(30%)によって成績評価を行います。それぞれの課題に関する詳細 は授業の中で案内します。

教科書および参考書							
書名	著者名	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別		
The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture	Roger J. Davies & Osamu Ikeno	Tuttle Publishing	2002	978-0804832953			
関連URL	Aoba Matsuri Trailer https://www.youtube.com/watch?v=jh6ov5hNjeg&feature=youtu.be https://www.youtube.com/watch?v=-29-ixi03Kg						
授業時間外学習	Students will have to practice Suzume-Odori outside class time. Details will be provided in each session.						
	、実務・実践的授業である						
授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】	YES						
連絡先(メールアドレス等	各先(メールアドレス等) 全学教育HP掲載の「全学教育科目授業担当教員連絡先一覧」を参照。						
The maximum number of students for this course is fixed at thirty-one due to the convenience of If there are more applicants than places, participants will be selected by lottery. 定員31名とします。希望者多数の場合には抽選を行うことがあります。 This course can NOT be registered online. The educational affairs department will register after the second week.			teaching/learning style.				
その他	The following two c 講義コード: CB33 講義コード: CB33 この授業は東北大学	本授業はWeb履修不可。2週目の授業で履修者が確定した後、教員を通じて、履修登録します。 The following two courses share the same course contents. 講義コード: CB33111 小嶋 緑 講義コード: CB33110 新見 有紀子 この授業は東北大学グローバルリーダー育成プログラム「TGLプログラム」のTGLポイント対象科目です。 (②国際教養力養成サブプログラム2ポイント)					
更新日付	日付 2025/01/17						

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要となる学修時間の目安は、「講義・演習」については $15\sim30$ 時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など) $30\sim15$ 時間、「実験、実習及び実技」については $30\sim45$ 時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など) $15\sim0$ 時間です。